

いくぞう通信

議会レポート

No.31号

2021年12月議会報告

後援会事務所 栃木市岩舟町古江 792

TEL・fax 0282-55-8776 ・ホームページ更新しました

携帯 090-9010-7042 ・いくぞう通信見られます

Eメール i-hary@cc9.ne.jp

あなたの相談相手、
気軽にお電話ください。
栃木市議会議員 針谷育造

12月議会は、11月26日から12月15日までの20日間開かれ、令和2年度一般会計、国民健康保険、後期高齢者、介護保険、下水道事業等（補正）を承認する。条例の一部改正12件、財産取得（とちぎインター西、平川土地区画整理のための土地取得（約9億円）人権擁護委員の推薦4件を議決、陳情1件否決し閉会した。詳しくは議会広報等をご覧ください。



農業委員と農地利用推進委員の定数削減に反対

産業教育常任委員会の質疑から

今農業の置かれている状況は、極めて厳しい現実にもかかわらず、国は委員の削減を強要し、市の農業委員会もやむなしとなり、条例が提案された。産業、教育常任委員会質疑では、問題有の発言がほとんどであったが、採決ではいつものように問題を指摘した議員も反対できず、賛成多数で可決される。自分の意見と採決が違うのは、これって何ですかね。本音と建て前を使い分けて、市長に忖度しているとしたかと思えません。議会のチェック機能は死んでしまったのでしょうか。

本会議でも反対5

人、賛成20人で可決された。反対針谷育、茂呂、内海、白石、川上の5人
委員を半分に減らせ・農水省指導

農家と農業を守る農業委員、推進員に「何もするな」ということなのです。自給率38%を改善し、国民の食料に責任を負うのは政府であり、農水省。「農業委員会総会の機動性の為に半分にしなさい」との指示が農水省から来ている。

農水省は農業・農家を見捨てる

今だって無理なのに、これでは・何もできない。

農業委員一人・443戸・414ha担当…推進委員基準は100ha⇒現実には324ha担当。
農業振興を今やらなければ日本の将来はない。農業を見捨てれば国の破滅です。

質問1 栃木市の農業について

コメの生産費割れ コメ農家が生きていけない

針谷「今年のコシヒカリは12359円、アサヒの夢は10257円、生産費は売値より2000円以上高く逆転、赤字を出しながら生産を続けているのが実態である。農家は生きていけない。国民の食料をつくり、環境を守る農業がこれでいいのか」

秋間産業振興部長「農業は厳しい状況にあることは承知している。栃木市農業ビジョンの中間期にあり、「新規農業者の確保、競争力と持続力のある経営体の育成、儲かる農業への転換」を重点的に取り組む」

針谷「どうすれば自給率を高められるのか」

南斉副市長

「肉食等の食生活の変化で、外国

からの飼料輸入で畜産業は生きている。飼料等を国産で賄うなど、この構造を変えなければならない」

針谷「このままいけば土地改良区の賦課金も払えない。どう考えるのか」

南斉副市長「農地を広くまとめ集団、法人に集積し、国の交付金を使い経営を安定する方法もある」



そのためには大区画の農地整備が必要です

農地所有者負担なし(無料)の県営土地改良事業があります

針谷「その事業はどんなものか」

秋間産業振興部長「担い手への農地集約、集積のために、農地中間管理機構が借入れ、申請・同意・費用負担なしで、県が基盤整備をやります」

針谷「もう個人ではコメつくりをあきらめざるを得ない」

秋間産業振興部長「担い手さんに農地を貸す方法しかありません。そのためには

県、市役所、地元が納得できる座談会等をいつでも準備しています。ぜひ取り組んでいただきたい。この結果スマート農業の道を開きましょう」

針谷「ぜひ実現し、将来の農業、食料確保、農地と美しい農村を守りたい」

将来に向け今こそ農業・農地の転換が必要です

食べなければ、食料がなければ・・・生きられない

こんな当たり前のことを私たちは忘れていませんか。空気がなければ生きられないことも忘れておられるのと同じように。食糧難で飢えに苦しむ人たちは、世界で8億2000万人以上、9人に一人が飢餓に直面しています。日本の貧困児童は7人に1人とされています。

子ども食堂がその象徴ではないでしょうか。まさに政治の貧困です。すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活営む権利を有する。国はこれを保証する(憲法25条)岸田さん忘れていませんか。安心して暮らせる社会を政治は作るべきです。

質問2 サッカースタジアム、とちぎシティ学園について

スタジアムの市民向け利用は・・・ゼロで、有りませんでした

使用料・1時間9万円、誰も借りられない高額・・・コロナが理由ではない

針谷「議会ごとに質問してきたが、日本理化学工業所は、市の考えを無視していると思えない。関東リーグの成績と見通し、市民への開放状況と近隣住民の苦情をどう受け止めているのか」

増山総合政策部長「リーグ4位で来期も5部の関東リーグです。コロナ等で市民利用はゼロだった。苦情は聞いているがなかなか対策は進んでない」

試合や練習の為に生活が壊されている、

しかし会社は何もしない・・・地元協定は全く守られていない

針谷「利用したくても一時間9万円では借りられない。これで公共性があると言えるのか。『苦情も聞くだけで、何もしない、誠意が全くない』と近くの方は怒っている」

増山総合政策部長「照明と騒音の苦情は聞いている。試合前に近隣に挨拶している。防音壁は必要と考えるが・・・」

針谷「聞くだけで会社は何もしない、報告もない。生活が壊され、ここで生活出来ない、したくないと言っている。地域発展など全く考えられない」

市は、会社に物が言えないのか、不思議ですね(市民の声)

学園には校長もいない・予算もつかみ金・更に・学生が集まらない！

校舎の整備は出来たのか⇒11月末で終わると聞いている。

雨水貯水槽は⇒12月に完了する。

学生の通学手段は⇒マイクロバスで送迎する。

寮などの宿泊施設は⇒当面アパートを岩舟に借りてもらう。

予算書が杜撰でないのか⇒県の審議会もこれで通ったので、これ以上は求めない

学生は集まったのか⇒いまだに未達成である。

校長は見つかったのか⇒未だに校長不在で、開校は難しい。

来年の開校に赤信号・「出来るとは思っていなかった」の声あり？

市長の責任は重大・地域住民の期待が裏切られる？

市の取り組みが、業者の言いなりの結果こうなったことは明らかである。一連のサッカースタジアム、ゆらら館の指定管理契約、専門学校、更にいわふね観光農園の貸付金

の未返済問題等。日本理化学工業所に振り回されている。専門学校で、市民の財産1億5000万円を失うことになろうとしている。大問題です。「市長分かっていますか」

開校に赤信号?? 専門学校が出来なかったら大変です。

契約書第7条、市は無条件で契約の解除が決められる。

日本理化工業所は、当然「返還しなければならない」ことになります。

地元の期待を裏切ることのないように、市は全力で取り組まなければならない。甘い期待だけで進めてきたことを、厳しく反省し、その解決が強く求められている。しかし見通しは暗い。

新たな心配・・とちぎクリーンプラザ(清掃工場)の大改修!

新たな巨額・プロジェクト 総額310億円6600万円

基幹的整備改良工事費(本体) 85億5948万円

包括的業務委託費(維持管理費) 225億0655万円

とちぎクリーンプラザは平成15年3月稼働、18年が経過し、設備・機器の老朽化が進むみ、改良工事の必要性が出てきた。今の施設を動かしながら工事をしなければならないので工事とメンテナンスをする業者を同一とする計画です。しかし問題もありそうです。

設計書もなく、見積もり合わせで巨額の契約をする説明あり。

12月15日議会の疑問に答えて、単なる見積仕様書でない・との回答。

設計・施工を一括して発注する「性能発注方式」の回答。予定価格の設定は

見積を取り、他自治体の事例や、市場価格を考慮し設定する・・透明性は確保。

「性能を示した要求水準書」?を作成して実施すると、回答。

見積でやることは変わらない。なぜ設計書がないのかの疑問に答えていない。

議会の役割は・・・市民の利益を最優先・・・市長の為ではありません

私は議会ごとに毎回一般質問をしてきました。いくぞう通信も31号になりました。

- 1、議会は、行政をチェックすることが、主な仕事です。
- 2、すべての決定は、議会の議決がなければできません。
- 3、市民のために条例、政策などを提案することです。

自転車安全条例の制定、給食費などの予算修正などがありました。毎回ほぼ原案が通ります。私はすべてに反対しません。

市民の為にならないと判断したときは反対をします。それが議会・議員の本当の姿なのですから。